



第 3 号

1995年 8月

発行人・細川謙三
編集人・友広 寿

本号の内容

- 平成六年度総会報告
- 総会不参加の方々の短信
- 会務報告
- 東京各格致会運営基金の報告
- 年会費納入のお願い

- 海外特集 ケニア 奥平 博子 28年卒
- 海外特集 ヒマラヤ 森田 千里 25年卒
- 海外特集 ミュンヘン 前田えみ子 35年卒
- 東京格致会ゴルフコンペ
- 平成七年総会案内

「母校同窓会からのメッセージ」

豊かな人間性を

広島県立庄原格致高等学校
同窓会長 寺川 俊 昭



日本の首都である東京で、同窓の皆さまが「東京格致会」を結成し、力強い歩みを進めてくださっていることに、心からの敬意を表します。

私は昭和二十年卒業であります。荒木前会長のあとをうけて、昨年から会長の役を勤めさせていただいております。ご承知いただいておりますように、母校はほどなく創立百周年を迎えます。いくつかの記念事業や行事が計画されつつありますが、この年を母校の未来へ向けての意義ある跳躍台とすべく、一万四千人の同窓会員が心と力とを合わせて協力していきたく、強く願っております。東京格致会におかれまして、何卒よろしくお願い致します。私は、現在も京都のある大学に勤めており、自宅のある西城と京都とを往復するよ

うな生活をしておりますが、大学では毎年、高校を卒えた新入生を迎えますので、その諸君を通して、現代の日本の高校教育を垣間見る思いをもつことが、しばしばあります。そこにいろいろな問題を感じますけれども、一番深刻な問題は、あの偏差値による生徒のランクづけであるように思われます。このことは、心ある方がたが繰り返す指摘なさっている通りですが、その問題性の極端な表現が、今回の某宗教団体の眼をおおうような惨状ではないでしょうか。

頭のよい冷酷さ、とでもいいたしうか。人間に対する温かい理解の欠除といいたしうか。人生に対する柔軟で敏感な感覚の欠落とでもいいたしうか。これらの問題が、無惨な形で露出したのが、今回の事件であるように思います。もし現代の教育が、偏差値の高さ、つまり形式的な頭の良さを第一に目ざせば、その代償にこういう冷たさ、人間に対する深い愛情の欠除が、その裏に暗い口をあけて待っているように思われてきます。

県北の温い人情と豊かな自然の中にある私たちの母校が、豊かな人間性に目ざめた心やさしい生徒を大切に育ててくださることを、私はひそかに願ひ、また強く期待しております。

私は大学生活を東京で送りましたので、東京の地には格別の親しみを感じております。高い志をいただいて東京で人生を築かれた皆さまが、変わらぬ母校への愛情をお持ち続けていただきますことを、心から期待申し上げます。

(前大谷大学学長・昭和20年卒)

母校の近況報告

広島県立庄原格致高等学校長
世良 英 成



昨年は八谷教諭(同窓会事務局長)と私を東京格致会へご招待いただきまして、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

昨年十一月一日、本校の新体育館にて、「宇宙開発と私」というテーマで、東京格致会の梶川寛氏の講演を全校生徒にしていただきました。OHPを使って人工衛星に関してかなり専門的な内容もありましたが、生徒たちも興味をもって聞き入っていました。

去る六月一日に昭和十九年卒業約三十名の同窓生の皆さんが学校訪問され、校長室にある古い写真や資料を見ながら、しばしば懐かしい昔話に花が咲いていました。

さて、本校では、サッカー・ラグビー用の第二グラウンドの完成を求めて、広島県及び庄原市行政関係に同窓会、PTAと共に働きかけていることはご報告しましたが、昨年一二月に根木田(学校から歩いて五分)に一万平方メートルの買収が完了し、一九九七年の百周年記念行事には完成予定です。阪神大震災で被害を受けた同窓生の方も

いらっしゃるかも知れませんが、生徒会、PTA、教職員で募金活動に取り組み約二十万円を日本赤十字社を通して、被災者にお送りしました。また同窓生の子どもさんが神戸の高校では授業がなされていなかったために、三ヶ月ではありましたが、本校で勉強するという方法をとりました。彼女は、本校での三ヶ月がとても楽しく有意義な日々であったと感想を述べ、今年の四月に神戸へと帰っていきなりました。この募金活動の取り組みの中で、生徒会長は「今回のこと、義援活動が日本だけでなく世界に広がり、みんなが一つになり、お互いに助け合うことがどんなに素晴らしいことかがわかりました。また、災害の恐ろしさをまのあたりにし、災害が起きたとき、自分に何ができるかを判断し、確実に実行することがとても大切であることがよくわかりました。」と述べています。

昨年度の進路状況ですが、大学進学は、早稲田大、横浜市大、大阪府立大、東京学芸大、広島大、九州工大等百名で、経済的不況の影響もあって、国公立大学へは二九名が合格しました。特色ある大学・学部を求めて全国的範囲で受験する生徒が増え合格しております。また、女子の四年制大学と高等看護学校への進学者が増える傾向にあります。

クラブ関係も全校生徒の九十パーセントが所属し、活発な活動をしており、今年の広島県高校総合体育大会ではラグビー部が優勝しました。放送部、吹奏楽部も地道な活動を続け、地域社会からも高く評価されています。

これからも、「格致致知」の精神を受け継ぎ、私たちが教職員は魅力ある格致高校の教育実践に取り組んで参ります。最後にになりましたが、東京格致会の皆様のご活躍とご健康を祈念いたしますと共に、母校への一層の御支援をお願い申し上げます。

平成6年度

東京格致会總會懇親会

参加できなかつた方々の短信

三倉 寛一

(大正8年卒)

幹事の皆様御苦勞様です。感謝。老齡お役にたちません。悪しからず。

幹事の皆様の御活躍御高配感謝していただきます。残念ながら總會の前後4日ばかり、大阪へ行きますので失礼いたします。皆様によろしく。

田辺 憲之

(大正10年卒)

身体の不調のため欠席致します。總會が盛大で有るようお祈りいたします。

体調をこわし休んでおります。会の益々の発展を念じております。

東 覚

(昭和7年卒)

幹事さんの御苦勞感謝いたします。

運営改善の為の基金作りのお手伝いをして戴き、予想以上の基金ができましたことを喜んでおります。今後若い方々の手で副会長を引き受けて戴きたく、皆様の御発展をお祈りします。

藤原 一男

(昭和12年卒)

会報懐かしく拝読させて頂きました。厚くお礼申しあげます。

事務局の方の御高配感謝いたします。残念ですが仕事の都合で出席出来ません。成功を祈ります。公立学校の校長を退職し、現在教育委員会に務めています。

長岡 格

(昭和17年卒)

古稀を迎えましたが至極元氣です。謡曲の指導に余生を送っています、当日は欠席致します。盛大で有るようお祈りいたします。

特別養護老人ホームは多忙なところで、いつも連絡いただき欠席してすみません。皆様によろしくお伝え下さい。

藤岡 薫

(昭和17年卒)

幹事の方々御苦勞さまで。最近囲碁の勉強で暇つぶしです。二級ですが、初段目標です。

格致会会報ありがとうございます。友人、知人、近所の人、次々と懐かしい方々の名前が出て来て、ご活躍振り伺うことができました。想いはしばしばタイムスリップして、故郷を偲ぶことができました。ありがとうございます。

八谷 義登

(昭和20年卒)

幹事の方々御苦勞さまで。最近囲碁の勉強で暇つぶしです。二級ですが、初段目標です。

在職中、公務で腰折、同一姿勢続かず働けず。

藤本 公三

(昭和21年卒)

十月二三日四日香川県の小豆島で六十才以上のテニス大会があり団体戦に福岡県チームの一員として出場予定ですが欠席させていただきます。

新見 義明

(昭和23年卒)

戸井 ちずる

(昭和32年卒)

会報を読ませて戴くだけであのセーラー服で三つ編姿に心ときめかした自分を一瞬思い出させてくれます。欠席ですが役員の方、そして、皆様のご健勝をお祈りします。

青木 清人

(昭和25年卒)

丸 満 日出美

(昭和32年卒)

格致会会報ありがとうございます。友人、知人、近所の人、次々と懐かしい方々の名前が出て来て、ご活躍振り伺うことができました。想いはしばしばタイムスリップして、故郷を偲ぶことができました。ありがとうございます。

佐竹 幸二

(昭和26年卒)

格致会会報ありがとうございます。友人、知人、近所の人、次々と懐かしい方々の名前が出て来て、ご活躍振り伺うことができました。想いはしばしばタイムスリップして、故郷を偲ぶことができました。ありがとうございます。

高野 美代子

(昭和26年卒)

旅行に雑用、休みの取りすぎでこれ以上休むことが出来ません。来年こそ出席出来るよう祈っています。

新井 祥爾

(昭和 年卒)

現在病氣療養中の為出席不可能な現状なので、せつかくの事ですが欠席させて戴きます。

天野 皓昭

(昭和37年卒)

残念ですが、一年前より、トルコでの学会が決まっております。どうぞ皆様によろしくお伝え下さい。

我が故郷 備北地域

備北は備後北部の意で、中国山地から吉備高原にかけての地域を占める。

行政的にはこの地域の中心都市となる庄原市のほか、比婆郡(西城町・東城町・比和町・口和町・高野町)・神石郡(油木町・神石町・豊松村・三和町)・甲奴郡(上下町・甲奴町・総領町)および世羅郡の一部(甲山・世羅町)にまたがる1市13町1村からなる。面積は1,987.54km²の地域である。

この地域は、旧石器時代の人骨の出土もあり、また多くの古墳の分布がみられ、早くから開けた地域であった。弥生時代以降の生活の基礎は米作を中心とした農耕であったと考えられるが、古代から日本における鉄山地帯として鉄を中心とした産業文化が発達した。大和朝廷による統一により備後国とされ、王朝政治の崩壊するにつれて荘園化がみられ、鎌倉時代には首藤氏が地頭職として庄原盆地を統治した。その後、尼子氏と毛利氏の争覇地となり、江戸時代になると福島正則の統治を経て、北部は浅野藩、南部は福山藩・中津藩・天領に分かれて治められた。1876年(明治9)からは広島県に属し、県庁所在地からはもっとも遠い地域となっている。

たまには故郷へ出掛け昔を思い出してみませんか。

東京格致会の発展を期待して

平田 耕司 (昭和20年卒)

平成三年八月、社命により慌ただしく広島(廿日市)へ赴任し、それから三年近くを経過した昨年六月、再び東京へ帰ってきました。私にとってこの度の広島生活は大変有意義であつたし、また有難い三年でもありました。広島近辺に住む格致中学の同級生十数名と五十年ぶりに会うことができましたし、格致同窓会広島支部の幹部の方々(増谷幹男氏、田上久志氏など)とお会いすることもできました。然し何よりも嬉しかったことは度々、庄原へ帰省でき、それも広島から一時間と少しで行けるということです。中国縦貫道、その他の道路が整備され、途中の自然も存分に満喫できます。そして庄原市内はいたるところが変り、昔を思い出すのに苦労します。

ただ、啄木の「ふるさとの山に向ひて言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな」の通り山と川は昔のままです。東京へ帰り、細川会長他幹部のかたがたと会つて会の現状を聞くにおよび、この三年間で東京格致会は更に発展、充実していることを知り感銘を受けました。基盤づくりができて、しっかりした方向で会の運営が進んでいることです。会員各位が楽しみにしている年一回の総会も毎年盛大に開催されていますが、私はこの会を更に有意義かつ盛大にするために、幹事を各卒業年度ごとに選出(複数でもよい)し、その幹事の力により総会参加者を増加し、会を盛り上げるのができないものかと以前から考えていました。また懸案の新しい名簿作りにもこの幹事の方々の力を得なければ出来ません。そうしたことから現在卒業年度の世話役をしているのが東京格致会の幹事ではないという方、あるいは〇〇年度の世話役をしたいという同窓の方がおられましたらどうかぜひ東京格致会の友広事務局長(電話〇三三九三三九四〇二五)へご連絡下さるようお願いいたします。そして東京格致会の益々の発展を期待します。

東京格致会運営規定(内規)

- 一、会議等
二、常任幹事会
三、分科幹事会
四、総会
五、基金
六、年費
七、付則

- 一、基金
二、年費
三、付則
*「東京格致会会則」は会報第一号に掲載

基金「本会運営基金」の報告

基金については、会報第一号にも掲載しました「趣意書」の中に「無償の株主、一口一万円・締切り設けず」とありますが、会員の皆様へのPR不足も懸念しております。平成七年八月十日現在五十一名の方(基金出資者のご芳名は後記)のご賛同を得まして、金百万の基金が集まっております。基金を拠出頂いた方々には感謝します。担当者としてこれから情報を取集して適切なPRに努めたいと思っております。何卒、会員の皆様各年次でクラス会等も行われると思いますが、その際は必ず「基金・年会費」を話題の一つに選んでいただき、大きな輪に育てるよう是非ご協力下さいませようお願いして、ご報告いたします。

Table with 2 columns: Name (氏名) and Year (年卒). Lists names like 永井幸雄, 田部幸雄, etc., and their graduation years.

会務報告 役員人事

多年にわたってご尽力いただきました細川謙三会長と新見義明副会長のご退任をお受けして、今後は顧問としてご指導をいただくことになりました。これにともない現在、会長代行の平田耕司氏(元副会長・昭和20年卒)を中心に、平成七年総会以降の役員を幹事会で選任し、新体制案をつくりました(左記一覽表)。役員の内任・転居による欠員もあり、また平田氏ご提案のように、できれば各年度の世話役が幹事として参加していただければ、執行部も一段と充実することと思っております。若返りも大歓迎です。みなさんからのご意見・ご提案をお待ちしております。(事務局)

Table with 4 columns: Position (職), Name (氏名), Year (年卒), and Term (任期). Lists roles like 会長, 副会長, 幹事長, etc., and the names of those holding them.

会員随想 海外特集

私のケニアの25年

奥平博子

私とケニアとの関係はもうかれこれ二十五年になります。比婆の山奥から東京にあこがれて上京したのが四十二年前のこと。華やかな映画会社に夢のような気持ちで入社。しかしテレビの出現によって会社は急激な下降線をたどることになりました。海外旅行がまだ許されていなかった頃からこの日本という島からとび出してみたいと念じていましたので、同じ映画会社にいた主人と結婚して二人で外地移住の計画をたてました。今日の様に情

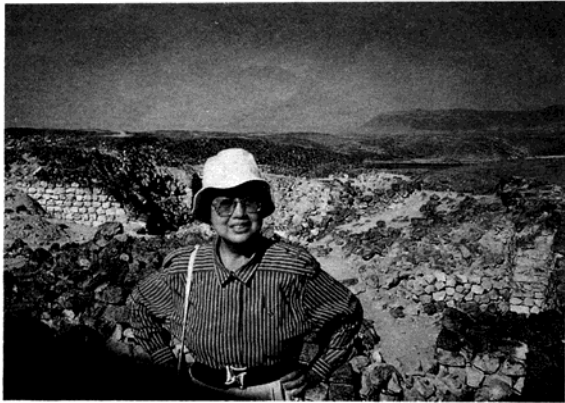
報が何もない時代でしたので地の果てに夢を追って、アフリカの地に移住して日本より修学旅行の学生を迎える旅行社をやりたいと思っていました。

大会社の恩恵もまったく個人で飛び出してみずと何ごとでも難しく、まずやと日本レストラン第一号をナイロビにオープンしました。その頃ケニアはイギリスより独立して、まだ四年目でしたので国の中もごたごたして特に役所関係のことに本当に手間どってしまいました。三十人ばかりのスタッフを募集してみますと三百人以上の人がつめかけ部族関係のことをあまり知らなかった我々が後に苦勞することになりました。レストランはスキヤキ、天ぷら、おさしみといったもの他に大きな円形カウンターの鉄板焼きが、とても人気がありました。そしてまぐろも日本に輸出する前のものが手に入りとても美味のおさしみも出来ました。日本人スタッフを五名つれて行きましたので、一人一人にアパートを借り自動車を買って与え、高給を支払えばまず採算がとれないのは目にみえていました。

それでも毎日お店にいっぱいのお客様がみえると嬉しくて昼も夜もがんばりました。その頃特別なものをのぞいては輸入が難しかったので醤油・お米など日本の漁船が入港するのを新聞で読むと五百キロも離れたモンバサ港に出かけて無理をお願いしてわけていただいたりしました。そして毎夜和服に着がえてスキヤキコーナーは私一人でがんばりました。英語の苦手な私は客と向かいあって汗をかきました。同じく英語の話せない和板が従業員に教えている時バカヤローなんてどなって労働局に訴えられたり、従業員を送迎バスを運転手ごととりあげられたり、アラブ系の会計士に黒人達が出て行けと迫ったり、毎日緊張の連続でした。それでも日曜日には小さな息子を連れて朝早くから、動物を見に出かけたり、魚つりに出かけたりました。今は奥地に行かないと動物も少なくなりましたが、その頃は車道にも動物がとび出して来るので細い道などでは象に出あわないように祈りました。そして人家のプールにも日中キリン等も水を飲みに来ていました。そんなナイロビも今は高層ビルが建ち並び、車のラッシュと村から出て来た人であふれています。トヨタ、日産、マツダ、いすゞ、ホンダの日本車が日本人とはほとんど出会わない街中にあふれていたのは四十五年前のこと。今はもう韓国の車が日本車より安く店にならんでいます。

二十年前あまりの年月のうつり変りの早さをこの目で毎年みて驚いています。物価もどんどん高くなり昨年は前年の五倍にもなっていたりしてもうあきれてしまいました。息子の学校のこともあるて一度帰国しましたが息子が大学生になった時また一人残して、夫婦で今度は海岸に住むことにしました。沿岸地方はアラブ・ポルトガル・イギリス等の侵入して来た歴史が目にあたりがあり、この十年間は主人と二人でそんなことに興味を持って生活しています。しかし息子から手を離れたものの、今度は年老いた両親がいますので行ったり来たり生活になってしまいました。それに私自身いつの間にもう六十才という年齢になってしまいました。それでも毎年この東アフリカとその関係のあった国を訪ねています。今年はアラブのオマンを訪ねました。次にチャンスがありましたらスワヒリについてお話ししてみたいと思います。日本を離れると日本が見えて来て、故郷を離れると故郷がみえてくるものだなと今思っています。

(昭和28年卒)



オマンのドファール地方の乳香の交易で栄えた町ホール・ルーリにて
(一九九四・一二・二〇)

ヒマラヤに棲みついで

森田千里

駄法螺からはじまって、ヒマラヤ棲まいをしています。今のところ一年の三分の二はインド人です。

初めてのヒマラヤ登山の時、こんなところに自前の山小屋があったらなあーと思っただけでした。はるけくも遠いインドの山奥、もう二度と訪れることもないだろうと、かすかな諦めとともに帰国したのが一九七一年でした。当時、やっと外貨を個人でも買えるようになりました。一ドルが三六〇円の時代です。四千米の氷雨の山稜で、幻の青いケンに出会い、雪峰に岩壁に、氷河に、ヒマラヤ造山運動を目の当たりにした身の震えるような

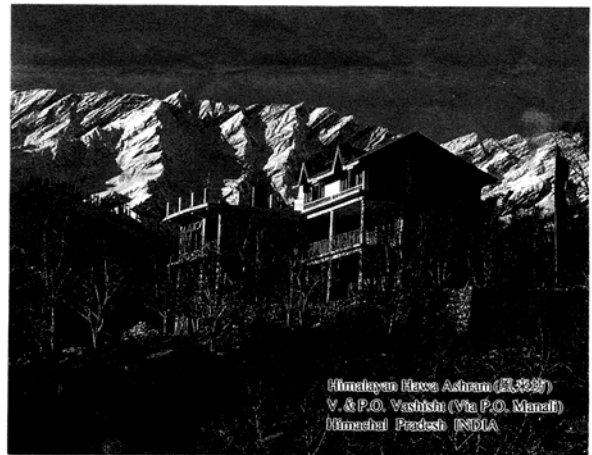
感動を忘れることができませんでした。その後、山の会と本格的にかかわるようになり、毎年のようにインド亜大陸へ通うことになりました。

当初のかすかな夢が、なんとかかして山小屋をと、膨らんできたのです。登山に、休養、学習、修業のベースとしてつくろうと、仲間や友人に吹きまくっているうちに、ポツポツ資金が届くようになり、建設に踏切った訳です。引っ込みがつかなくなったのです。

ところは、インド・ヒマラヤ、オシヤカ様の故郷の北、天竺国、ニューデリーから北へ六百軒、ヒマチャール・プラディッシュ州(雪の美しいところの意)クル県、マナリ町という小さな町のはずれ、バシスト村です。主ヒマラヤの一角、ピルバシジャール山脈に抱かれたところ。日本であれば長野県の上高地を広くした



1991年自宅にて



筋三階建ての小屋がなんとかできました。

交通は、成田から直行便でニューデリーまで約八時間(帰りは六時間半)、デリーに一泊して翌朝のローカルフライトで一時間二〇分クルという町に着きます。ここからタクシーで一時間、ですから、今日、昼すぎに成田を発せば明日の昼飯は、ヒマラヤをオカズに、という訳です。山好きでヒマラヤ研究家で、『日本百名山』など書かれた作家の深田久弥さんが、こんなところに住んで、のんびり山あるきをしたいと言っておられたそうです。

地元の昔からの友人などの力を借り、リング園の斜面を削り、氷河の運んだモレーンを割り、石ブロックをつくり、鉄筋三階建ての小屋がなんとかできました。

様な谷です。海拔二千二百米くらいです。リンゴの産地で、小屋の上方百米くらいのところには、州政府経営のよい温泉もあります。

交通は、成田から直行便でニューデリーまで約八時間(帰りは六時間半)、デリーに一泊して翌朝のローカルフライトで一時間二〇分クルという町に着きます。ここからタクシーで一時間、ですから、今日、昼すぎに成田を発せば明日の昼飯は、ヒマラヤをオカズに、という訳です。山好きでヒマラヤ研究家で、『日本百名山』など書かれた作家の深田久弥さんが、こんなところに住んで、のんびり山あるきをしたいと言っておられたそうです。

(写真は三月のもの)、まだまだ手を加えたいのですが、自然保護のために、森林の伐採が極度に制限され材木の入手がむづかしいのです。ともかくも、トイレ・バス付、十三室の小屋です。

当地は、北インドのヒルステイション、避暑地です。夏休みの時期には結構、日本の客も訪れ、登山、山旅、ラダック地方へのバスの旅など楽しんでます。スキー場も近くにありません。

今、小屋が一段落したところで、インドヒマラヤ自然史博物館構想に取り掛かっています。建物の中に閉じ込められた博

物館ではなく、自然こそ博物館だという発想です。一つ目の仕事はここを中心に、動・植物、地質、民俗、歴史、地理等の調査資料を集め、VTRやスライドで情報を提供していきけるようにしたいのです。

ビジターセンターというところでしようか。二つ目は、旅の目的にかなった、トレッキングコースをつくることです。どの時期どこへ行けば青いケンが見られるとか、クロクビツルや、野生のアイベックスの群に会えるかというようなコースづくりです。

三つ目は、特別なガイドの養成と紹介

物館ではなく、自然こそ博物館だという発想です。一つ目の仕事はここを中心に、動・植物、地質、民俗、歴史、地理等の調査資料を集め、VTRやスライドで情報を提供していきけるようにしたいのです。

ビジターセンターというところでしようか。二つ目は、旅の目的にかなった、トレッキングコースをつくることです。どの時期どこへ行けば青いケンが見られるとか、クロクビツルや、野生のアイベックスの群に会えるかというようなコースづくりです。

三つ目は、特別なガイドの養成と紹介

物館ではなく、自然こそ博物館だという発想です。一つ目の仕事はここを中心に、動・植物、地質、民俗、歴史、地理等の調査資料を集め、VTRやスライドで情報を提供していきけるようにしたいのです。

ビジターセンターというところでしようか。二つ目は、旅の目的にかなった、トレッキングコースをつくることです。どの時期どこへ行けば青いケンが見られるとか、クロクビツルや、野生のアイベックスの群に会えるかというようなコースづくりです。

三つ目は、特別なガイドの養成と紹介



森田千里さんの連絡先

(現職) 日本勤労者山岳連盟会長
〒162 東京都新宿区矢来町108第五英晃ビル
TEL 03-3260-6331(代)
FAX 03-3235-4324
(本職) Himarayan Hawa Ashram (ヒマ
ラヤ・風の道場) の小屋番、山案内人、日本
名“風来坊”
(インド住所)
V.I.P.O Vashisht (Via. Manali) Distt.
Kullu Himachal Pradesh INDIA
TEL, FAX 001-91-1901-8562
(日本住所) あまり居ない
〒335 埼玉県戸田市新曽1562-1 ライオンズ
MS北戸田601号
TEL, FAX 048-443-8927
(日本の連絡事務所)
交通、山、旅の近況など集中してあります。
〒170 東京都豊島区東池袋3-15-5
東池袋ビル601号
(K.K) マルコポーロ・ジャパン 真藤健一
TEL 03-3980-2881
FAX 03-3980-2882

派遣などです。現地州政府の関係者や親光関係の人たちとも話し合っています。ヒマラヤの自然保護運動などでお世話になってきた沼田真先生(植物学者・千葉博物館長)たちも、応援したいと言ってくださっています。かけがえのない地球の宝として、ヒマラヤと付き合っているたいと思っています。ぜひ皆さんも力を貸してください。さてと、

こんな駄法螺の原点は、格致中・高時代にあります。旧広島文理大の堀川教授(薛苔類)の八次のお宅をお訪した時、「知ることは、愛することのはじめなり」と、おっしゃったことを忘れません。東京女子医大にいた、市岡四象氏と一緒だったと思います。豊かな比婆の山山でいろいろ学びました。授業を抜け出しては登った裏山で、エヒメアヤメの自生地を北限を見付けたら、中生代の湖生層を発見したり、西城川岸で、クジラの骨やカニの化石をとっては、大八車で大石を運んで、

校舎の床に落して穴をあけたりしたことなど、昨日のように思えます。ユニバーサル・コスモポリタン・アソシエーションという会をつくり、大風呂敷をひろげては、帝釈峽や東城川岸の未踏の鍾乳洞を探検したりしたものでした。

今、原稿を書きながら、五〇年振りの横山鶴雄氏の電話の声を再び想い出しています。半世紀がワープします。私の祖先墳墓の地は庄原市本村町郵谷です。帝釈峽を想います。お盆に、彼岸に、墓まいに、上野池から越えていったカナガタオを想います。なつかしい、師、友人、諸公!

人生到處在青山、死ぬまで青春だぞと、酒喰らってはとびあるいています。厳しくも豊かな、ヒマラヤの自然、そして人。ぜひ一度お訪ねあれ。

格致万歳!
森田千里||通称アダ名(チーヤン)
(昭和25年卒)

広島県庄原格致高等学校の歩み

明治三十年創始者小田源吉先生により「広島県立比婆西高等学校」となる。昭私塾「格致学院」に端を発す。「格致中 和二九年町村合併により庄原市制が施行学」をへて昭和二三年学制改革により、され「広島県立庄原高等学校」となり、「格致高等学校」となる。昭和二四年高 昭和三六年高校再編成により「広島県立校再編成により、広島県庄原高等学校、庄原格致高等学校」と広島県立格致高等学校、西城高等学校を統合し 高等学校に分離独立、現在に至る。

第12回東京格致会ゴルフコンペ

6月10日土曜日に上総一宮の一宮カントリークラブにて開催されました。

二一	美	身	雄	成	幸	昭	郎	馨	郎	紘	三
省	孝	一	修	輝	一	久	正	次	三	康	洲
村	伏	井	近	藤	原	井	藤	山	真	十	賀
三	室	長	佐	菅	酒	近	小	五	明	住	本
優	勝	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15						

東京格致会秋期ゴルフコンペの御案内
親睦ゴルフコンペも回を重ね第十三回となります。今回、左記の通り開催致しますので万障御繰り合せの上多数の方の参加を御待ちしております。
初参加の方、大歓迎、参加されるときつと満足して頂きます。

開催日時 平成七年十一月四日(土曜)
日)東コース九・四〇スタート
場所 千葉県一の宮CC(五組)
交通 東京駅(京葉線一番ホーム)
八時発特急わかし号
参加御希望の方は総会の返信バキに御記入願います。
後日、組合せ等詳しい御案内を致します。

幹事一同



NP 佐近、佐藤
*DC 小山、佐藤
競技は新ベリア方式を採用
天候は曇天・風少々あり
コースから一宮海岸が眺望でき、太平洋の波が海岸に打ち寄せ、波頭の散るのを見た。
メンバー・ゲストのお世話で、梅雨の晴れ間で楽しくプレイができました。
次回は、(第13回コンペ)11月4日(土)今回と同じ一宮CCで開催致します。幹事は、室伏と友広が担当します。

会員随想

つづき

「ミュンヘン」

前田 えみ子

丁度私がミュンヘンに着いたその夜、ミュンヘンの五〇〇人のアーティストが一堂に集まり年に一度の祭が催された。その一年間に活躍したアーティストで部門別に一人ずつ表彰式をかねての催し物で無礼講の式です。音楽部門はチェロ、バイオリンの三重奏の現代音楽。演劇はミュンヘン在住のアメリカ人の女性で一人芝居。彫刻、絵画とそれぞれが皆んなに作品を披露し、大きな拍手とともに花束ならぬ野菜束が市長からささげられた。

その後はドイツの生ビールでアーティスト達の宴会。なにしろ会場はアーティスト等に通常貸し与えられているアトリエである。その仕切りを取り払ってどこからかテーブルと椅子を運んだだけでむきだしのコクリートの壁に表彰者の絵・彫刻が置かれ、全く、これほど、現代のアーティスト等に適した宴会会場があるとは思えなかった。政府が貸し与えているアトリエも一階から地下室につながり広大なスペースである。それを無償で多くのアーティストに貸し与えている政府の大きさに目を見はった。それも、ドイツ人だけでなく多くは東欧・中国人、アメリカ人と国籍も多様である。私も一ヶ月間の個展が催されるために少し早めに着いた。一九九〇年の六月末のことである。その六年前一九八四年に一度個展のためにミュンヘンを訪れていた、二度目の個展となる。今回はプライベートのギャラリーではなく、ミュンヘン市から援助のある画廊ということもあり、作品も製作することが出来るようにアトリエも用意してあった。その広さは三〇畳ぐらいもある広々としたスペースである。私は、その時日本では考えられないことであるだけに、その国の大きさを感じ入ってしまった。アートというものは、すぐには成果があらわれないもので、それは、ほとんどの現代美術がガラクタ同然でその一部しか価値あるものは無いものであっても、それに対して、限りなく、必要なものとして、人間の営みの中で大切に育てられているという実感を感じた。そして何よりもアートを必要としている社会であると。

今、日本の国でも物質的なものの支配する中で、若い人々の中で精神的な渴望から宗教的なものに走る人が多くいる現状をみても、我々現代人に何か我々自身をとりもどす、自分自身は何かと問いたおす必要性があるのではないかと思う。その役割の一部にアートがあるような気がする。うまくいえないけど、アートが何か病んだ社会そのものをみつめ、何かの糸口を、そこに見つけられると、ヨーロッパの国々は長い歴史の中で知っているのかもしれないと思う。

その夜の宴会、市長もアナキーなアーティスト達と夜中じゅうビールの泡のついた口で飲み、笑い、議論しているさまは固苦しいドイツとは全く考えられない自由な何ものかが、そこにはあった。後から聞いた話だが、市長は三人いて、出席した市長はグリーン代表と聞いて少しうなずけた。

(昭和35年卒)

●年会費についてのお願い●

事務局

東京格致会は、平成五年から年会費（年額二千元）をお願いしています。この年会費は、会報の発行、総会・役員会等の会合案内印刷費用及び郵送料、母校派遣者に対する旅費一部負担、その他経常的運営費用にあてられています。

特に会報の発行は、故郷情報を含め会員の皆さんが最も興味をもたれているだけに今後益々充実しなければならぬ課題です。そうした内容に支途される年会費ですが、現在約八十名の方々からご協力を頂いています。このこれら経常的費用を充足していかないため、本年度年会費をお支払いになっていない方は是非ともご協力をお願いいたします。

★年会費（二千元）振込先

郵便振替 〇〇一五〇一七一―二九五〇 東京格致会
なお、総会出席者はその際総会費とは別にこの年会費を支払われても結構です。

平成七年度総会の御案内

本年度東京格致会総会・懇親会を左記により開催致します。
万障お繰合せの上、是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。
出来るだけ多くの会員各位のご出席をいたたくために種々検討の結果、本年度は週末を選んでみました。どうぞ旧友、知己お誘い合わせの上、多数ご参加下さいようお願い申し上げます。

なお、準備の都合上、お手数ながら九月二〇日まで非同封の葉書で、出欠をお知らせ下さいようお願い申し上げます。

平成七年八月 東京格致会 会長 細川 謙 三

一、日時 平成七年十月二日(土) 午後三時より

一、場所 山水楼

千代田区丸の内三―一―一 国際(帝劇)ビル2F

〇三―三二―二一三四〇一 一〇、〇〇〇円 (学生一無料)



編集後記

多くの方々のご協力を得て会報三号の編集を終って、第一号、第二号の編集に当たられた横山鶴雄さんの御苦勞を痛感しております。

本号は特に「海外特集」ということで森田千里さん、奥平博子さん、前田えみ子さんからの貴重な原稿を頂き会報に載せることができました。

会員各位の親交を深める会報に発展させる為に一人でも多くの皆様方からのご意見、会報の原稿をお寄せ頂く事を期待して居りますので何卒御協力をお願いいたします。

尚、総会にはぜひ皆さんの御出席をお待ちしております。

「東京格致会会報」第三号

平成七年九月一日発行

発行人 細川謙三

編集人 友広 寿

事務所 東京都千代田区神田淡路町二―一三―四

酒井会計事務所内

電話〇三(三三五五)八九九五

連絡所 東京都練馬区東大泉七―二―二八

友広 寿

電話〇三(三九二三)四〇二五

▲振込口座▼

◎年会費 郵便振替 〇〇一五〇一七一―二九五〇

東京格致会

◎基金 第一勧業銀行八丁堀支店

口座番号(普通預金) 10668267

東京格致会 友広 寿